

立地適正化計画策定に向けて ～都市構造の可視化～



千葉県四街道市都市部都市計画課

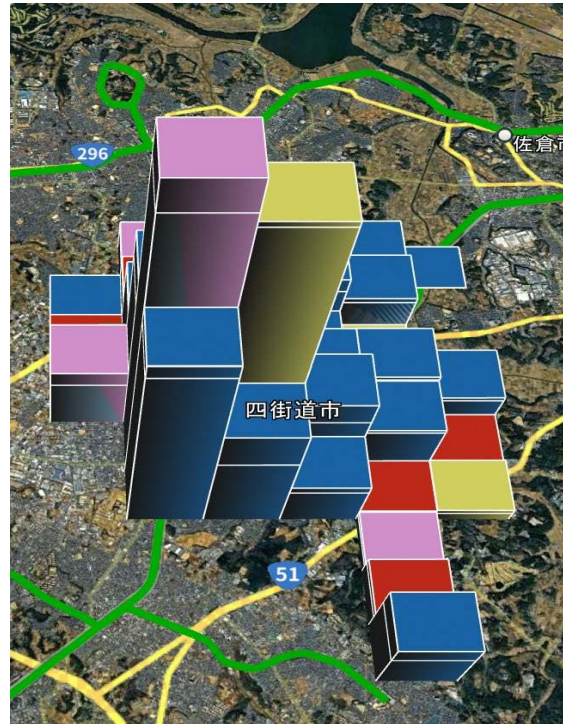
2. 四街道市の人口について

昼間人口と夜間人口

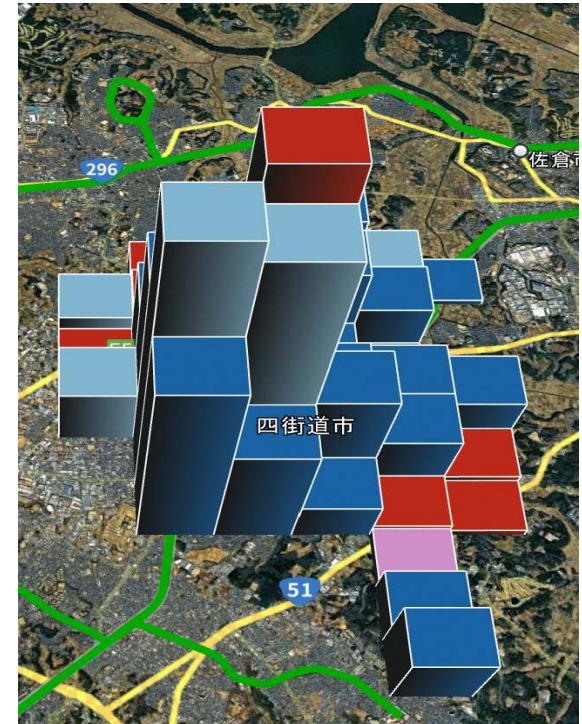
都市部に近い立地によりベッドタウンとして人口増加



1980年



2000年



2010年

色：昼夜間人口比（%） 赤：115～、紫：105～115、黄：95～105、水色：85～95、青：0～85
高さ：昼間人口（人）

補注：都市構造可視化計画、Image c 2026 Airbus、Google Earthを使用

2.四街道市の人口について

表：年齢3区分別人口の推移

市街化調整区域でも人口増加とともに居住区域が拡大

	市街化区域						市街化調整区域					
	実数（人）			構成比（％）			実数（人）			構成比（％）		
	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
平成12年	7,766	40,642	6,013	14.3	74.7	11.0	3,809	19,845	4,440	13.6	70.6	15.8
平成17年	7,903	38,349	9,066	14.3	69.3	16.4	3,836	19,648	5,785	13.1	67.1	19.8
平成22年	7,779	35,588	13,074	13.8	63.0	23.2	4,034	19,193	7,019	13.3	63.5	23.2
平成27年	7,432	32,984	16,513	13.1	57.9	29.0	4,456	18,781	8,462	14.1	59.2	26.7
令和2年	8,297	34,567	18,014	13.6	56.8	29.6	4,180	18,460	9,052	13.2	58.2	28.6



年齢3区分別人口の推移
(市街化区域)



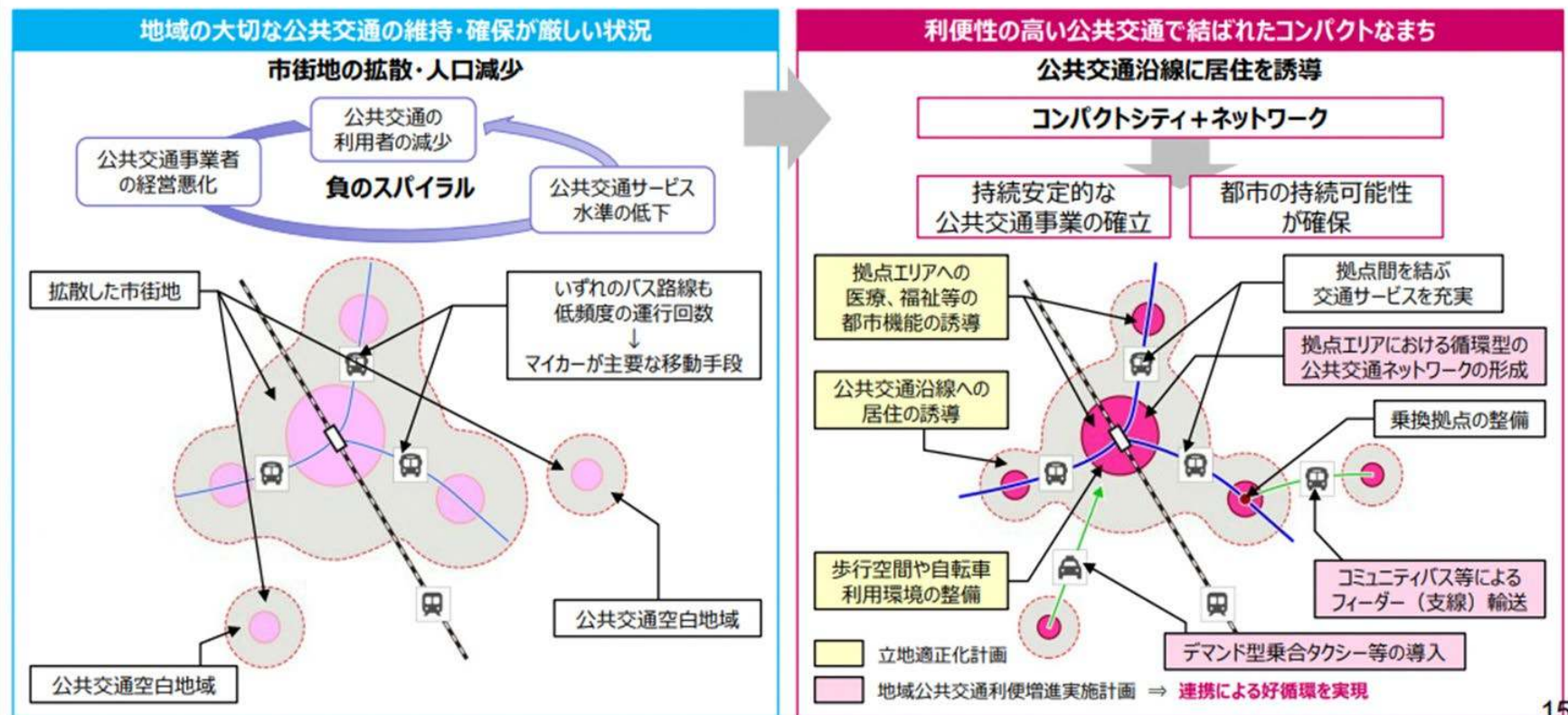
年齢3区分別人口の推移
(市街化調整区域)

出典：国勢調査

3.立地適正化計画の策定に向けて

地域公共交通施策との連携

連携イメージ



15

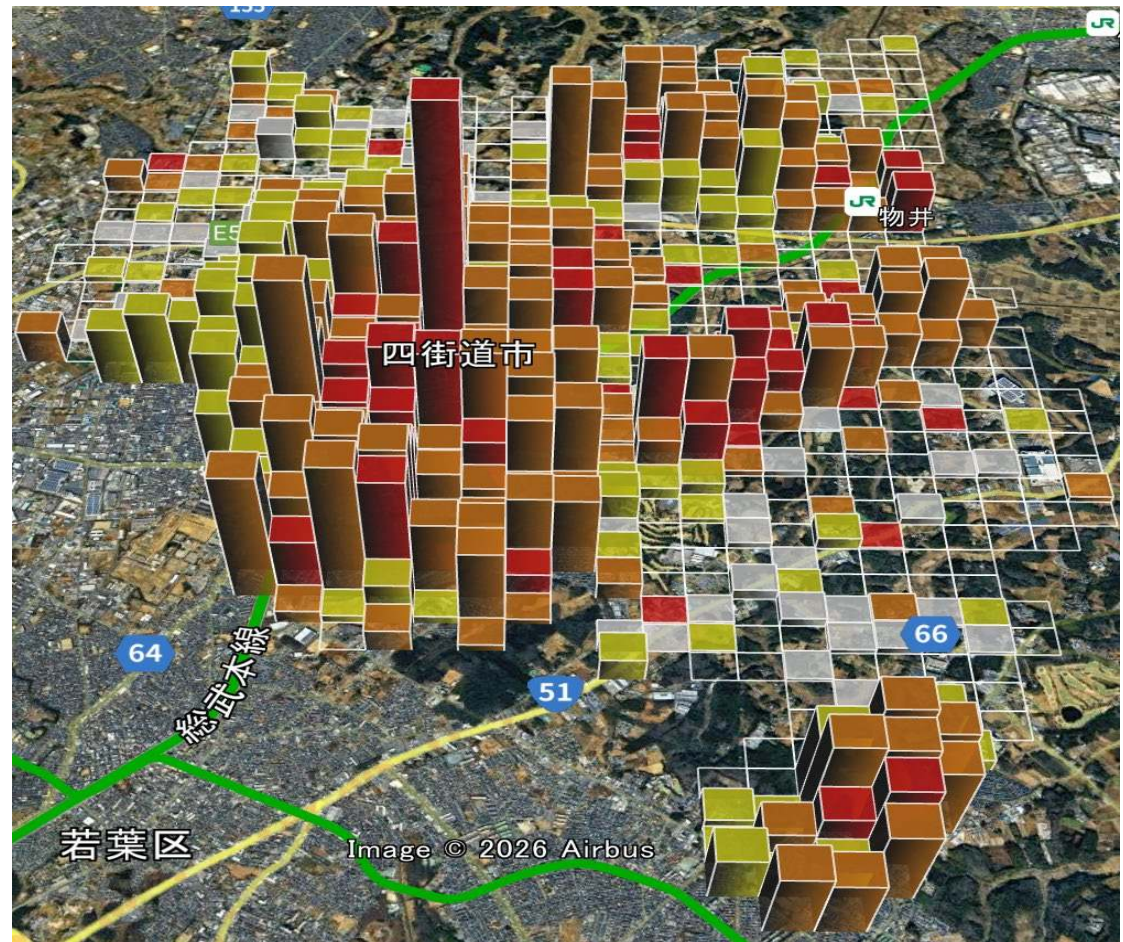
出典：立地適正化計画の手引き P15（国土交通省都市局都市計画課）より抜粋
https://www.mlit.go.jp/en/toshi/city_plan/content/001745585.pdf

4.就業者通学者数×公共交通分担率

高さ：常住する15歳以上
就業者・通学者 総数
(令和2年国勢調査)

色：常住する15歳以上就
業者・通学者 公共交通
分担率 (令和2年国勢調
査)

- 48.1% < (公共交通分担率)
- 33.1% < (公共交通分担率) < 48.1%
- 18.1% < (公共交通分担率) < 33.1%
- (公共交通分担率) < 18.1%

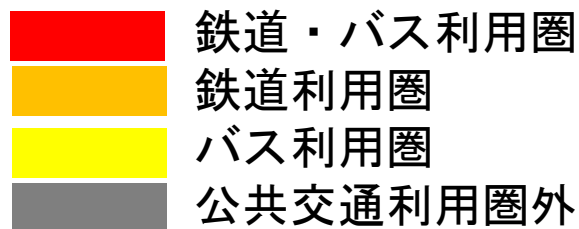


補注：Image c 2026 Airbus、Google Earthを使用

5.就業者通学者数×公共交通利用圏

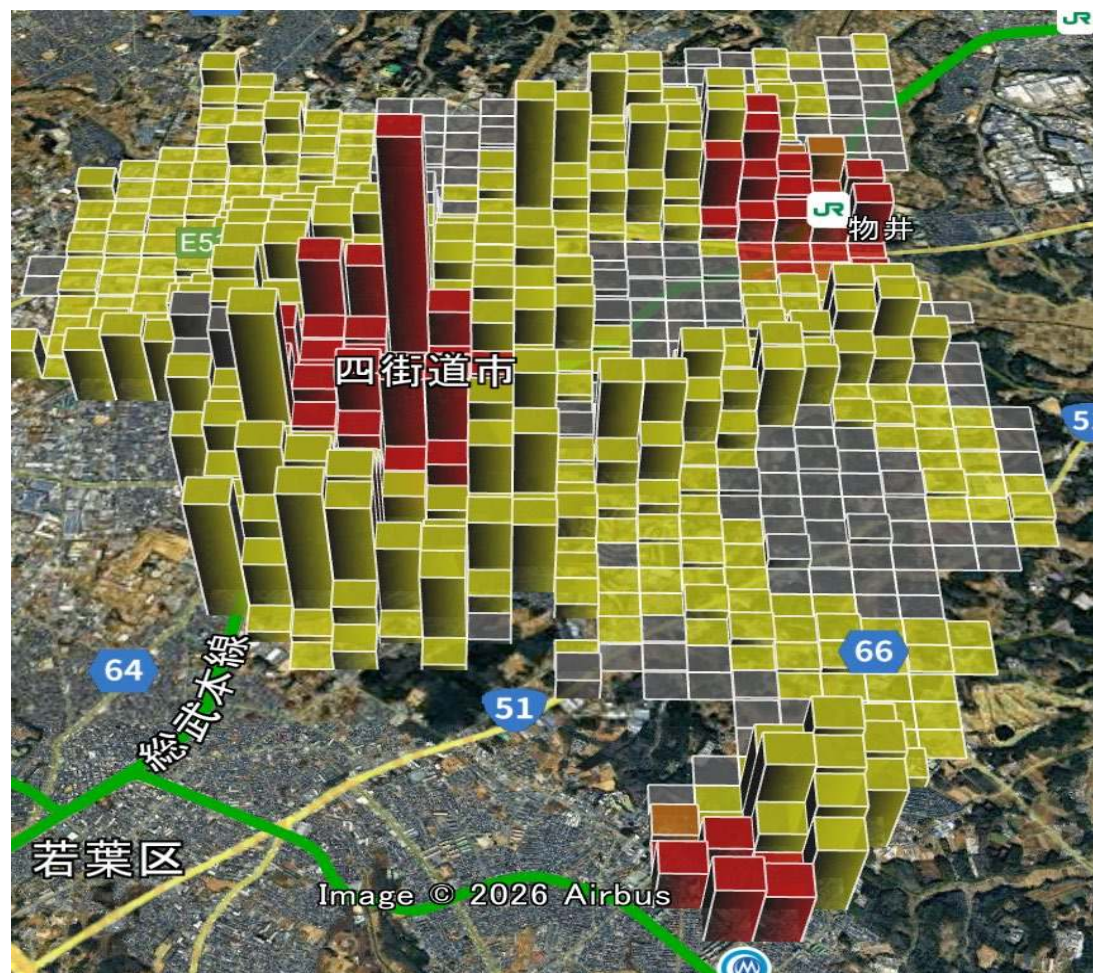
高さ：常住する15歳以上
就業者・通学者 総数
(令和2年国勢調査)

色：公共交通利用圏（国
土数値情報（鉄道：令和
6年度、バス：令和4年
度））



鉄道利用圏：800m

バス利用圏：400m



補注：Image c 2026 Airbus、Google Earthを使用

立地適正化計画の策定にあたっては、地域公共交通の確保・充実と移住促進・都市機能の誘導が好循環をもたらすよう、居住誘導区域の調整を効果的に行うことが望ましい。

